

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により
通告します。

2020 年 8 月 21 日
東村山市議会議長 あて

議席番号 24 番
質 問 者 渡 辺 み の る

記

1. 第 2 期 子ども・子育て支援事業計画について Ver.1

2020 年 4 月から「第 2 期 子ども・子育て支援事業計画」が開始した。東村山の子育て
支援政策の今後と、計画の考え方、いかに少子化に歯止めをかけるかについて、以下伺う。

(1) 保育園利用者の現況届について

- ①当市は現況届を年 2 回提出するように求めているが、多摩 26 市ではどのような状
況か。
- ②2 回提出にしている理由を伺う。
- ③2014 年 9 月 10 日発出の通知(雇児発 0910 第 2 号)では第 2 の 5 にて「現況
届は(中略)・・・1年に1回を基本に求めること」とされている。保護者の負担を鑑みて
も年 1 回とすべきと考えるが、見解を伺う。

(2) 第 2 期 子ども・子育て支援事業計画について

①コロナ禍を受けての課題について

- 1) 新型コロナへの対応で浮き彫りになった、民間施設との情報共有や市の判断の遅
れなど、課題をどのように総括し活かしていくのか。
- 2) コロナ禍で問題が明らかになったことのひとつとして、幼児教育・保育施設や児童ク
ラブ、その他の子育て支援施設などでの定員と職員配置の問題がある。より良質で
安全な教育・保育を行っていくためには、職員一人当たりの子どもの人数を少なくす
る必要があると考える。市としてどのように考えていくのか。
- 3) 幼児教育・保育施設や児童クラブ、その他の子育て支援施設などで感染症が発生
した場合はどうするのか。また、今の新型コロナのクラスターが発生した場合はどのよ
うに対応するのか。

②第 2 期に解決すべき課題について

- 1) 第 2 期計画を策定するにあたり、第 1 期期間中をどのように総括し、第 2 期期間中
に解決すべき課題をどのように設定したのか。また、何ができて何ができなかったのか

など、計画の進捗をどのように分析したのか。

2) 子ども・子育て支援事業計画を策定し目標に向かって進めることで、具体的にどのようなまちを目指しているのか。少子化に歯止めをかけることも視野に入っているのか。子ども・子育て支援事業計画の意義について、市長の考え方を伺う。

③計画の考え方について

1) 「『子どもの最善の利益』が尊重される社会」を実現するためには、どのような視点に立ったまちづくりが必要と考えているのか。

2) 計画の視点の中で「子育ての第一義的な責任は保護者にある」とあるが、行政計画にこのような文言を入れた理由は何か。また、子ども・子育て会議でどのような意見があったのか。

2. コロナ禍における災害対策

新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、避難を要する災害が起こることも十分に想定される。感染症への対策を講じながら災害に備え、避難所を運営するなどこれまでにない対策が必要となっている。また、日本の避難所ではプライバシーの保護なども課題となっていると言われている。

災害対策に積極的に予算を投入し、避難等での感染症の防止と市民の命と安全を守るために、以下質問する。

(1) 災害対策について

① 災害が発生しても避難をしなくてもいいような被害にとどめるために、市として積極的に対策を講じる必要があると考えるが、地震・風水害などの対策の中でこれまでの災害対策に加え実施していくものはあるのか。

② 感震ブレーカーや耐震シェルター、非常用備蓄品などへの補助制度など、財政的な支援を拡大していくことも必要と考えるが見解を伺う。

(2) 避難所運営について

① 避難所での感染症対策はどのように行っていくのか。ホテル等の借り上げなども検討しているのか。また、各避難所へは最低何人の職員が配置されるのか。

② 避難所を運営するにあたって、男女共同の視点で取り入れた内容と、これから取り入れる内容は何か。また、必要だが取り入れることが困難なことはあるのか。

以上